

Tosho

第11号 2007.2

東商LADY

会長・副会長 挨拶

第2回蓼科サマーセミナー

第38回全商女性連三重全国大会

第22回関商女性連総会甲府大会

東商園遊会、警視庁本部・国会議事堂視察会

第1回研修会、第2回研修会

平成18年度会員総会、新入会員オリエンテーション

第211回例会、女性経営者ミーティング in 福島

チア！ ビジネスウーマン2006 in 東京

証券取引所・日銀視察会、第1回新会員とのランチミーティング

新年懇親会

特集 少子化問題 私たちにできること

ぶらり東京の旅「日本橋」ほか

Lady

女性の視点に立って

「健康な日本の創造」のために

会長 齋藤 朝子



平成19年の新春を迎え、希望に満ちたスタートを踏み出されたこととお慶び申し上げます。

わが国の経済は徐々にではありますが回復しつつあり、期間としては「いざなぎ景気」を越しましたが、地域経済・中小企業に於いてはまだ実感出来ないところが多いというのが実情だと思います。

ご承知のように昨年より当会の事業活動の三担当制が、交流部、研修部、情報・広報部の三部制と名称を改め、その下部の活動組織が出来て、各々に有意義で活発な事業を展開し始めました。会員のみなさまにはこの三部のいづれかに所属いただき、女性経営者同志のネットワークを構築して連携し、助け合いながら前進してまいりましょう。

昨年よりご協力をお願いいたしております会員増強、パワーアップ運動も新年懇親会で発表致しました通り、期限前に目標の六〇〇名会員を突破して会員のパワーで益々充実した会になってまいりました。

パワーアップ推進委員の方はじめ、会員のみなさまの熱意とご努力に心より敬意を表したいと思います。有難うございました。これからも東京商工会議所の組織の一翼を担う女性会として連携をとり、会員のみなさまの要望をとりまとめ、提言をしてまいりたいと思っております。

山口会頭が揚げておられる「健康な日本の創造」のため女性の視点にたち、全力で努力いたす所存でございます。みなさまのご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。



新会員との交流で更なる研鑽を

副会長 吉川 稲美

皆様の会員増強活動へのご協力によって、多くの方々に入会して頂く事が出来ました。新会員の方々は各種会合にも積極的に参加くださり、女性会に新たな息吹が感じられるこの頃でございます。女性会に新たな息吹が感じられるこの頃でございます。動きが実感できるようになってきたのではないのでしょうか。

この度交流部の担当になりましたが、交流では今までの年間行事に加え、入会された方々に希望と目標を持って活動に参加できますよう、また先輩の会員の方々にもご自身の経営観や女性会で学ばれた体験などを伝えていけるよう3ヵ月ごとの「新会員とのランチミーティング」を企画致しました。女性会活動の中で、お互いの信頼関係を築きながら、ご自身の目的や方向性、そして3部会への選択の場として頂きたいと思っております。毎回工夫を重ね、人との出会いから自己を研鑽しながら、女性会全体の交流を活発にしていきたいと願っております。

さらなる活性化と充実を目指して

副会長 山崎 登美子



新しい希望に向かって、平成19年も走り出しました。東商女性会の柱となる3つの部、その中にそれぞれ個性の溢れるチームが、結成されました。その各チームは、会員の皆様の絶大なる協力を得る事によって、はじめて活性化され、素晴らしい働きが出来るものと思えます。初めて私自身の事業を仕事にしようと思った、あの時の心が原点であり、この時の熱い気持ちを、今一度思い起こして、新たな情熱をもって、新しい女性会、益々充実した女性会にしていこうと思っております。皆様一緒に大いに活動しようではありませんか。

そのためには、まず女性会の事業に出席していただくことです。ご自身が出席しなければ、その会で良いのか、悪いのかは解りません。是非出席され、ご意見をバンバン出して戴き、それを基にさらに活性化し、充実した会になることを楽しみにしています。

本年も何卒ご教授の程、宜しくお願い申し上げます。

女性のしなやかさと粘り強さを発揮して

副会長 山野 壽子



明けましておめでとございます。
女性会では一昨年から齋藤会長のリーダーシップのもと組織基盤強化パワーアップ2005〜7の運動を続けてまいりました。皆様の絶大なるご協力で目標を達成しつつあります。

今年はこの基盤強化運動で新たに会員にられました大勢の皆様にも積極的に参加していただき楽しく学び交流の輪を広げて頂きたいと思っております。

景気は確実に回復に向かっているとありますが、まだまだ実感として感じられないというのが本当の所かと思えます。急激な少子化、定年延長、残業手当、などの労働問題。経営者として試練の時かも知れません。

この様な時こそ女性としてのしなやかさと粘り強さを大いに発揮していきたいものです。

今年もどうぞ御指導宜しく御願いたします。

女性会の更なる向上のために

副会長 安間 百合子



近年日本でも徐々にではありますが、様々な分野で女性の活躍が目立つようになり喜ばしいことと思えます。

とはいえ、私共が直面する少子高齢化、環境、教育、食の安全といった切迫しかつ重大な問題に対して、女性に限らず日本の社会全体が真剣に対処しているという実感が持てない中、私共女性会全員が女性ならではの知恵と感性を活かして深刻さを増す社会状況の改善に向けより一層貢献出来る可能性を探るべきだと思います。

古来の伝統と文化を尊重・継承する一方で、時代と社会状況に相応しい形でそれを活かすのが指導者としての資質だと（温故而知新可以為師矣）論語にもあります。

それぞれの分野での指導者である会員の皆様の知識・情報の更なる共有を進め、旧き良き日本の伝統文化を生かし、いささかでも社会に貢献出来るようあらゆる分野で研鑽を積み重ねてまいりたいと思えます。

本年もどうぞよろしく御願い申し上げます。

少子高齢社会の動向とビジネスチャンス
女性会初のビジネスフェスタに乞うご期待

副会長 渡辺 光子



新年が明け早や3月を迎えようとしています。年々1年の過ぎる早さに戸惑いさえ感じます。それだけ世の中の動きが目まぐるしく変化してきていることなのでしょう。わが国は、ご存知の通り世界一の長寿国となっております。この少子高齢化は、約50年続く現実は避けられません。

また、今年度から団塊の世代が定年を迎え大量に地域社会に排出されます。この中高年の再活用、少子・高齢化対策、環境問題など課題は山積みですが、ここに衣・食・住・健康・趣味などさまざまな商品・サービス業など大きな市場があることも事実です。

さて、私は女性会の情報・広報部を担当しています。『東商LADY』の発行、『ホームページ』の運営、これらの活動に加えて、女性会初の「ビジネスフェスタ・とく得プラザ夢の祭・展」を3月26日に開催するためにワーキンググループでアイデアを出し合いながら心を込めて準備を進めていきます。ご期待ください。今年もどうぞよろしく御願いたします。

全員参加型の運営で魅力ある会に

副会長 小林 栄子



新年明けましておめでとございます。
女性会の皆様におかれましては、明るく、希望に満ちた新春をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

さて、我国の経済は平成14年2月頃より景気が拡大されてきたと云われていますが、中小企業はまだまだと云う状況が続ぎ、余り実感はかんじられないと思えます。

今年からは女性も頑張つて基盤を強くして女性会の特性を活用し産業基盤の構築に力を入れ更に確固たるものになる様、推進、徹底し女性会の成長を見込み、新産業を取込み努力致します。

女性会会員各位の革新的な心勢にて希望が持てる、平和な「美しい国日本」にして行く様努めましょう。

何事も毎日が健康で明るい家庭、社会からはじまることです。
女性会も全員参加型の運営で盛上げ、魅力ある会をめざしましょう。



高原で探る、 経営の今と経営者のあり方

第2回 蓼科サマーセミナー

平成18年8月4日(金)～6日(日)
於・蓼科フォーラム

暑い東京を離れ、さわやかな風の吹き抜ける蓼科高原で、3年ぶりにサマーセミナーが開催されました。

8月4日・5日のAコース、5日・6日のBコース、そして4日から6日まで2泊3日のCコースと会員の参加しやすいスケジュールが組み込まれた普段とは違ったリラックスした雰囲気でのセミナーが始まりました。

1日目

平成18年8月4日(金)

挨拶 齋藤 朝子 会長

前回より3年ぶり、第2回のサマーセミナーが、又この蓼科フォーラムの素敵な環境の下で行われる事となりました。お勉強の時間も沢山ございますが、眼をあげれば窓の外に広がる美しい緑の中で、都会や日常のお仕事からしばし離れ、いつもと違う気持ちで学べると思います。

このような行事を通して東商女性会会員の親睦を図り、一層の会員増をも祈念する次第です。それは、女性の力を結集し、大きく社会に向けて広げてゆける機会を作ることにも繋がるからです。関係各位の計画と

準備に感謝し会員お一人お一人が、このサマーセミナーから何らかを得ることができ、皆さんの懇親が深められたなら幸いです。

【研修① ワークショップ】

13:00～17:00

トレーディングゲーム

(経営感覚トレーニング)

講師 株式会社ウイル・シード

日本・フィリピン・エチオピア・中国・アメリカなど実存の国々の名前が書かれたテーブルに、3～4名の参加者がチームになってビジネス



を競うゲームです。目標は、「世界で一番のお金持ちになる事」。国連や銀行は、講師や事務局がつとめました。

与えられた封筒の中身を見て始まるリアルなシミュレーションは、実際に資源（紙）や技術（はさみ、定規、鉛筆など）を駆使して生産（丸三角などを作る）を行い、販売し、余分なお金は銀行に預金したり仕入れにまわしたりと、部屋の中の小さな「世界」の経済状態を見据えながら熱心に取り組む姿は、さすがベテラン経営者の皆さんでした。

とはいえ、各国テーブルの袋から出てくるのは、芯の折れた鉛筆など不ぞろいな物ばかり。一気に頭も手先もフル回転して、不公平な状況打破すべく交渉したりしながらトップを目指します。製品の出来が悪いと買い叩かれる、原料価格の変動、災害の発生など実際に起こりうる状況を設定し予断を許さない展開です。国連からの「終了です」の声の響き渡った時点で一番現金を手にしてきた国が勝ちという、嫌が応にも経営者としてのスキルが問われるスリル満点のゲームでした。

優勝チームに勝因を聞くと「優勝するという強い意思を持つ事」との事でした。実際の経営にも現れる予測の就かない状況にどのように対応するかなど得るところの多いプログラムでした。

チームを組んだメンバーは、同志の様な一体感を持つ事が出来て、セミナーの始まりに相応しい高揚感のあるひと時を味わえた事が大きな収穫でした。

【研修② 実践セミナー（健康）】

17:30～18:30

健康法としての太極拳

講師 楊 麻紗会員

（楊名時太極拳養心会 主宰）

動きやすい服装に着替えて、『アトリウム』に集合。日本で40年の歴史を持つ楊名時太極拳を学びます。

この太極拳の基本は、のびやかな動きから「白鶴の舞」とも呼ばれる一連の動作です。正しく深い呼吸を伴ったゆっくりとした動作を、安定した動きとして自分のものとし、そこから得られる自己の内面との対話や、動作に込められた意味への理解



を大切に行っているために飽きる事なく続けられます。深い呼吸によって身体と心が安らぎ、自然や宇宙との調和が感じられるとの楊先生の説明に一同納得。高原の綺麗な空気の中で、ゆったりとしたひと時を過ごす事が出来ました。

【夕食懇親会① 会席料理】

19:00～21:00

*アトラクション

「誰でも知ってるシャンソン」

北澤 艶子 会員

蓼科フォーラム料理長より会席料

理の説明を受けた後、北澤艶子会員のすばらしいシャンソンやハワイアの歌声を堪能し、合唱したり踊ったりと楽しい懇親会が催されました。その後、バーラウンジ、和室『葎の間』に分かれて二次会が行われそれぞれ夜が更けるまで交流を深めました。

（記：田中洋子）



2日目

平成18年8月5日（土）

【研修③ セミナー（IT）】

10:00～12:00

IT時代に求められる

中小企業戦略

講師 関口 和一氏

（日本経済新聞社産業部編集委員兼論説委員）

高原でのさわやかな朝を迎え、早朝よりセミナーが開かれました。

特定のメーカーなどに偏らず、常に現場を歩んでいる関口氏に先の見えない「IT」（情報技術）に中小企業はどこまで対応して行かねばならないかという事について話をさせて頂きました。

プロジェクターを使った最新技術のデモンストレーションが画面に映し出され、なじみにくい用語を分かり易く解説しながら講義が進められました。「IT」に苦手意識の強い会員も興味深々で聞き入りました。

晴天の下、早朝東京を経ったBコース27名が正午に蓼科に到着。前日からの参加者と合流し午後のプログラムが開催されました。

【研修④ 講演会（経営体験）】

13:00～14:15

経営者交替時代に起きる

問題とむずかしさ

講師 藤本 佳子 顧問

(イースタン興業株式会社取締役会長)

講師に東商女性会顧問の藤本佳子氏を迎え、長年の経営の体験を伺いました。

戦後、新橋で藤本氏の父上が創業

されたイースタンモーターズ株式会社（運輸業）、イースタン興業株式会社（不動産業）は藤本氏のご主人に託され発展を遂げました。しかし、ご主人が49歳で突然の他界。その後社長を引き継いだ人物とメインバンクの結託により、イースタン興業株式会社の買収が計画されました。折りしもオイルショック直後の不況の真っ最中。「とにかく社長になるしか会社の生き残る道はない」との信念を持ってそれまで専業主婦の藤本氏は、ご主人の友人の助けを借りてメインバンク変更を達成。見事会社の危機を乗り越えました。

以来、24年間社長を続け、座右の銘は「人との出会いを大切にする」

創業者は偉大であるが、様々な時代を乗り越えなければならぬ後継者の大変さを痛感され、その時救われたものは、続けていらした趣味の地唄舞であったという事でした。

ご自身の



実体験に沿った内容に思わず涙する会員も見られ、そ

の飾らない人柄に女性会の大先輩として尊敬の念を禁じえない、たいへん貴重な講演でした。

【研修⑤ 講演会（社会・時事関連）】

14:30～16:00

マスコミが報じない真実

講師 関岡 英之氏

(ノンフィクション作家)

関岡氏は、36歳で銀行を退職し文筆業になられた異色の経歴の持ち主。小泉構造改革、郵政民営化、生保自由化の根本は、毎秋、日米両政府が交換する『年次改革要望書』に起因するのではないか。マスメディアは、果たしてその真実を正しく報道しているのかという観点から、現在の日本の姿を社会、経済の面から鋭く切り込んだ講演でした。又、日本の医療制度が米国に比べるとたいへん優れている事についても説明され、目から

うろこが落ちるような衝撃的な内容でした。



うろこが落ちるような衝撃的な内容でした。





【研修⑥ 実践セミナー（健康）】

16:30～17:30

自力整体で自然治癒力を取り戻す

講師 作田 清江氏
（自力性整体整食指導士）

スポーツスタイルに着替えて、メ
インロビー『アトリウム』に集合し、
「自力整体で自然治癒力を取り戻す」
実践セミナーが行われました。
自力整体とは、自分の力で身体の
「歪み」などを整える事。「歪み」の



元は、『仙腸関節』である事などの
説明の後、実際に自力整体を行いま
した。

骨盤筋肉のゆるみを引き締める腹
筋運動や、スタイルをキープする立
ち方など、普段使わない筋肉や姿勢
に会員から悲鳴や笑いが起こりまし
た。持続して実践する事が大切だと
実感し、蓼科フォーラムの大窓から
見える緑の中で、日常からの気分転
換をはかれる講座でした。

【夕食懇親会② フランス料理】

18:30～20:30

*アトラクション

「歌っていいとも！」

笠 よし子 会員

「蓼科でも気分はハワイアン」

飯沼 和子 会員



セミナーの最後となる夕食を兼ね
た懇親会が、フォーラムダイニング
で開催されました。

蓼科フォーラムシェフの渾身の地
場素材を使ったフレンチ料理と特製
ワインに舌鼓を打った後、笠よし子
会員のシャンソンコンサートと飯沼
和子会員のフラダンス披露ならびに
講習が行われ、にぎやかに又、和や
かに交流を深めました。

自由参加の二次会では、バーラウ

ンジでカラオケを楽しむグループ、

『葭の間』で会話するグループ、足
つぽマッサージを受ける会員など、
それぞれに蓼科の夏の夜を過ごし
ました。



3日目

平成18年8月6日（日）

朝食・解散 8:00～

蓼科サマーセミナーも最後の日を
迎え、朝食後帰京する会員、オプ
ショナルツアーの上諏訪温泉『ぬの
はん』での昼食と温泉体験に向かう
グループなど、それぞれ有意義に過
したセミナーを思い返しながら蓼科
の地を後にしました。

（記：石野康子）

第38回全商女性連 三重全国大会

平成18年11月21日(火)〜22日(水)

東商女性会からは49名が参加し、名古屋駅に集合・出発いたしました。

「文句なしの秋晴れにポツカリと浮かんでいる秋雲。どうかご無事でこの旅が和やかでありますように」と祈る志摩観光バスガイドの美しい声と共に、名古屋駅を出発し、まずは食欲の秋とばかりに「おかげ横丁」にある『すし久』で、郷土料理の「てこね寿し」に舌鼓を打つところから、この旅は始まりました。

続いて、風も変わり凜として息づく古の限らない尊さの中、皇室のご祖神の天照大神をお祀りする、我が国で最も有名な神社のひとつである伊勢神宮を参拝いたしました。二拝二拍手一拝で東商女性会一同心一つにして掌を合わせました。

その後、三重県営サンアリーナにて、掛け声高らかに木遣りと和太鼓の音に始まる大懇親会が行われました。懇親会の献立は伊勢海老、牡蠣、雲丹御膳など伊勢志摩名産の味



を存分に楽しみながら交流を深めました。

翌日、太平洋から昇る靈験あらたかな朝日を拝みつつ、心を新たにしてお大会に臨みました。全国商工会議所女性会連合会旗入場から始まり、国歌、女性会の歌に続いて「商工会議所女性会活動指針」を、全国からなんと3200人の会員の方々が集

い一体となって唱和し、その熱気が会場に満ち溢れました。「昭和44年の設立以来、女性経営者の相互の連携を深め、商工会議所活動を通じて



地域、商工業の振興にも努め、福祉活動、国際交流、さらには環境問題への取り組みに貢献されたことに深く敬意を表します」と、野呂昭彦三重県知事からのご挨拶を戴きました。安倍晋三総理大臣のメッセージも齋藤朝子会長により伝えられ、佐藤樹一郎経済産業省中部経済産業局長からも励ましの言葉を戴きました。第5回女性起業家大賞授賞式もあり、最優秀賞の池田治子氏を始めとして11名の方々が受賞されたことに、会員一同感激し大きな拍手で祝福しました。次回の富山県に会旗が渡され、無事に閉会となりました。

記念講演会は「最新の免疫力をつける食生活と笑いまで」と題し、藤田紘一郎東京医科歯科大学名誉教授から、女性はいつまでも美しくなければならぬ、それには①細菌を大切に、②自然と触れ合う、③穀物、野菜、果物を摂る、そして大きな声で笑うことが免疫のバランスを良くすることを伺い、有意義なお話に一同驚きながらも納得しました。

その後、東商女性会のメンバーは賢島エスパリーニャクルーズにて、あご湾の遊覧と日本の文化である真珠の養殖を見学し、有意義で心満たされたつつ三重での全国大会参加の旅が日暮れと共に終わりました。

(記：松平洋史子)



第22回関東商女性連總會 甲府大会

平成18年4月14日(金)



第22回関東商工会議所女性会連合会総会甲府大会が、多数の来賓の方々、ならびに茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、静岡各県と東京の70女性会より、総勢700名余り、東商女性会からは54名の参加

のもと甲府市にて、盛大に開催されました。会場となった甲府富士屋ホテルでは、総会、歓迎イベントの後、アトラクション、そして懇親会が催されました。



総会では、今回初めて政策委員会
が実施した女性経営者支援事業「チ
ア！ ビジネスウーマン2005」



の報告等があり、また、役員の改選の結果、引き続き小泉清子会長が再選されました。歓迎イベントでは、

山梨県産ワインのテイステイング講座、山梨県産品の販売が行われ、チャペルではソプラノ歌手によるコンサートが催されました。続くアトラクションでは、山梨県特産品の宝石をPRする『2006ジュエリーファッションショー』が行われ、各地女性会の会員が混合でテーブルについた懇親会では和やかな交流が行われました。

(記：志摩淑子・西尾多恵子)



東商園遊会

平成18年4月18日(火)



新緑眩しいなか、高輪「開東閣」にて東商園遊会が開催されました。平成18年4月18日(火) 山口信夫東京商工会議所会頭以下349名が、麗らかな晴天の下に集まりました。「開東閣」は、岩崎家の別宅として明治後期に建てられ、その風光明媚な館と木立に囲まれた広い庭園は現在では迎賓館として使われています。はじめに、会頭からご挨拶があり「今年の商工会議所は、実行する・信頼される・愛される商工会議所をめざしております」と支部活動の重

要性を提言された後、宴が始まりました。

1階ホールでは、若手実力派女性カルテット「ドロップ」による弦楽四重奏によるミニコンサートが催されました。本年はモーツァルトの曲も250年にあたり、モーツァルトの曲も楽しめる演奏でした。

「オークの間」では、スペシャル赤ワインコーナーが設けられ、正副会頭から提供された高品質な赤ワインの芳醇な香りに酔い、美味しいランチと歓談で2階のバルコニーも賑わっていました。

中庭では、恒例の縁日コーナーが設けられ、飴細工、新粉飴、べっこう飴の実演がおこなわれ多くの人に囲まれていました。

わずか2時間の園遊会でしたが、東商の皆様とたくさんの方々の交流が充実したひと時となりました。

(記：奥永久美)



警視庁本部・国会議事堂視察会

平成18年5月23日(火)



桜田門前の警視庁横へは時間前に55名全員が集合、警視庁の中へと歩を進めました。最初は「ふれあいひろば警視庁教室」で簡単なクイズと警視庁の活動についてのビデオ上映。様々な役割・活動を分かりやすい映像で知ることができました。ついで2班に分かれて「通信指令センター」「警察参考室」へ。「通信指令センター」は実際に「110番」の電話を受ける場所。一日平均5050件の電話があるそうです。

偶然のことながら、110番通報から緊急手配を目的にすることになり、警視庁の事件へ取り組むスピード感と保安に対する熱意をリアルタイムで感じました。「警察参考室」では明治以来の警察の歩みと事件の記録などが展示され、近代警察の歴史を見ることができました。

さて警視庁から歩いて国会議事堂へ。国会議事堂の正面を見ながら、衆議院の見学入り口。ここでさらに14名の会員が参加、総勢69名(事務局を入れて71名)が国会議事堂の中に。赤じゅうたんのの上を歩きなが

ら、高い天井を見て天皇陛下の御休所、中央玄関の上へ。衆議院議場では議場の見学席に腰掛け、案内を聞きながら目の前に広がる雰囲気味わい、日ごろテレビ中継でしか見ることができない国の最高機関の空間を体験しました。昼食は議員会館で「国会弁当」をいただき、コーヒーの後、吉川稲美副会長の挨拶でお開きとなりました。なかなか見学する機会がない内容だけに、あつという間の4時間あまり。視察会をたっぷり堪能しました。

(記：相坂柚火子)



第1回研修会「経営の基本は自己研鑽」

講師：女性会副会長 吉川 稲美氏（株式会社吉香代表取締役社長）

平成18年4月25日（火）

創業から27年の間に培われた経営観や信念について、それまでの人生の喜怒哀楽の話を交えながらの講演に、参加した120名の会員が耳を傾けました。

吉川稲美副会長は青春時代を佐藤栄作元総理の秘書として活躍し、ここでの出会いの中で学んだ知識と経験を活かし、人材派遣・通訳・翻訳（90カ国を扱う）を業務とする、株式会社吉香を立ち上げました。講演では、礼儀・人の道・リーダーの条件という事を中心に秘書時代に学んだことから、現在までの経営観や信念について話されました。

とくに、「起業から現在までの会社経営は、順調な道程だけではなく、一時は倒産の危機を向かえたこともありました。その時の苦い経験



から、観察眼・洞察力等の自分の不足を感じ、これからは深みのある、真実を見抜ける人間になりたい、そのために自分を向上させなければ」と思われ、結局、その為には『自己の内面を徹底的に見つめること』であり、『原因は外にあるのではなく自分自身の内面にある』ということに気づき、この心境に達した時から、想像以上に好転し苦境から立ち上がる事が出来たという、情熱のある講演内容に参加会員からは感動の声が上がっていました。

（記：佐藤廣子）

第2回研修会「世界から見た日本の魅力」

講師：山本紀久雄氏（経営ゼミナール・代表／有限会社山本・代表取締役）

平成18年6月29日（木）

平成18年6月29日、会員71名参加のもと、第2回研修会として、経営ゼミナール代表の山本紀久雄氏を講師にお招きして、「世界から見た日本の魅力」をテーマにお話を伺いました。

株式会社資生堂で化粧品マーケティングを担当された山本氏は、世界各国の生活文化事情をつぶさに見てこられ、その経験をもとにこれからの日本、日本企業が「文化で生きて行く覚悟」を決めて新しい方向性を見出すこと、日本文化が海外ではた



いへん注目されている事などのお話を伺いました。また、山本氏が運営に携わっているおりがみ会館の話や、昨今、注目を浴びている大人の塗り絵の話題に触れながら、伝統文化を大切に、トップ1ではなく、オンリー1を目指すことの重要性を伺いました。会員からは、研究が続けられている山岡鉄舟についての質問など活発な意見交換がなされました。

（記：金原好紀）

平成18年度 会員総会

平成18年6月13日(火)



ら、監査結果の報告があり、議事は了承されました。

その後は会員表彰が行われ、役員を6年間以上お務めになり、退任された11名に、今日の東商女性会の基礎を築かれた貢献に対して感謝状が贈られました。また女性会の現在の役員で、これまで9年間以上役員をお務めいただいている9名に表彰状が授与されました。

この会員表彰とは、平成16年度に小泉清子名誉会長が全商女性連・会長の折に制定された制度で「全商女性連 表彰規則」をきっかけとして、東商女性会においても、この3月23日の役員会にて新たに制定した「表彰内規」によって実施されました。感謝状を授与された石井須美さんは92歳でいまだ現役。表彰状を授与された伊藤瑛位子さんが、挨拶をしました。

その後、会場を移動し、小泉清子名誉会長の乾杯から懇親会が開かれ、会員同士交流を深めた総会となりました。

6月13日午後5時半から、東商ビル・国際会議場で平成18年度の会員総会が開かれました。72名の新入会員を含め150名以上が参加し、齋藤朝子会長を議長として進行了しました。本総会では、副会長が事業報告、事業計画、収支決算および収支予算を説明しました。

引き続き監査役の佐藤廣子監事か

(記・金原好紀)

新入会員オリエンテーション

平成18年6月13日(火)



平成18年6月13日(火)会員総会前の午後5時より、平成15年5月から現在までに女性会に入会された新入会員のうち50名と役員10名が出席し、オリエンテーションが行われました。

去1年間に行われた観劇会、視察会の報告があり、今後も女性会ならではの特別な企画の開催が発表されました。

研修担当市瀬優子チーフサブリーダーからは、研修担当主催の勉強会、講演会の様子。また、8月に行われるサマーセミナーの予告が行われました。

会員の中から講師を選び、そして外部からも公私共に魅力的な講師を迎え、会員のニーズにあった研修会活動を続けていくとの活動方針が説明されました。

情報・広報担当石野康子リーダーからは、現在行っている『東商LADY』『女性会ホームページ』の作成について、取材・原稿・企画・校正・編集を全て担当委員で行っていること、また、今後は会員相互の情報交換の場となるような活動を企画しているため、是非新入会員の協力を願いたい旨の要請がありました。

新入会員からは、所属担当の中途変更が可能か、各担当の活動頻度についての質問がなされ、今後の新入会員の活動が期待されるオリエンテーションとなりました。

吉川稲美副会長司会のもと、齋藤朝子会長より女性会活動の全般についての説明があり、是非三担当委員会に所属して活動して頂くよう要請がなされました。

交流担当山口玲子リーダーから、新年懇親会など定例の交流事業のほか過

(記・石野康子)

第211回例会 講演会と懇親会

平成18年9月26日(火)



「勝ち続ける経営」経営の五本柱」
ISK経営塾塾頭 飯塚保人氏

16名の新入会員を含め約60名の会員が出席し、第211回例会が開催されました。

齋藤朝子会長の開催の挨拶、山崎登美子副会長から講師紹介。勝ち続ける経営に關し、5個のキーワードを基に飯塚先生からお話を伺いました。当たり前のことを当たり前に徹することが経営で勝ち続ける原理原則であること。勝ち続けるためには、常に意識改革を行い、自社事業の優位性を強化することが必要であり、行動の習慣化により「決めて徹する」という勝ち続けるポイントが実現できるという内容のお話の後、出席者の一部が感想等を述べ、盛会のうちに終了しました。

(記：戸塚美砂)



講演会終了後、東商8Fスカイルームにて開催された懇親会には、約60名の会員が参加しました。吉川稲美副会長の進行のもと、講演会で講師の飯塚保人氏のおっしゃった『必ず実行する』という言葉を取り返りながら、明るく爽やかな雰囲気の中の開会となりました。

(記：相坂柚火子)

はじめに渡辺光子副会長より「ぜひこの機会に名刺交換をして、交流が活発になりますように」と挨拶があり、乾杯となりました。次いで開催予定の「チア! ビジネスウーマン2006 in 東京」東商フォーラムの紹介がされました。

会員の皆様のなごやかな歓談・食事のなか、小林栄子副会長より、今会に参加の15名の新入会員の紹介がされ、自己紹介として会社の事業などを述べました。最後に安間百合子副会長の挨拶で、会員交流が一層活発になることを祈念して、お開きとなりました。

女性経営者ミーティング in 福島

「電気がむすぶ交流の輪」

平成18年10月6日(金)～7日(土)

台風16号、17号が直撃する中、首都圏エネルギー懇談会主催、女性経営者ミーティングが福島県で行われました。

はじめに富岡、楡葉両市にまたがる150万㎡に設置された福島第二原発を見学。累型6159億kwhの電力が発電されています。

ハーブ園や太陽光発電による噴水など地元住民の方との交流に努力されている様子が見られました。

富岡町「学びの森」に場所を移し、福島・新潟女性会の方々と交流ミーティングとして、ゲストに峰竜太氏を迎え、地元への経済効果と安全性について話し合いが行われました。



「ここで生産される電気は、私たちが使えないのよね。この辺りは夜になると真っ暗で…。でも東京に行つた時、夜でも光々と明



かりが灯つていて、この電気は私たちのところで作つてあるんだわって思つたわ」という新潟会員のお言葉が印象的でした。

翌日は大熊町、双葉町にまたがる約350万㎡の敷地にある、30年前に設置された沸騰水型原子炉の福島第一原子力発電所を視察しました。同時多発テロ以降特別保安対策が実施され、靴の履きかえや身分証の提示等厳重なセキュリティチェックが行われています。

資源の乏しい日本で安定した電力を得るため、ウラン燃料による発電が必要とされています。私達が眠っている間も電気は送られ続け消費され続けています。

「福島、新潟の皆様、今日も一日電気をありがとう」

(記：瀬良衣香)

チア！ ビジネスウーマン2006 in 東京

平成18年10月21日(土)

『輝く女性のワークライフバランス』

『仕事のやりがいとプライベートの充実』

(主催：東京・武蔵野・町田商工会議所女性会 後援：関東商工会議所女性会連合会)

第1部 (14:00～16:00) パネル
 デイスカッションと第2部 (16:00
 ～17:00) 参加者交流ティーパーティ
 で構成され、主催の東京・武蔵野・
 町田商工会議所女性会メンバーの他
 にOLや学生・主婦など総勢約200名
 の方が参加されました。

第1部のパネルディスカッション
 で印象に残った言葉は、以下のとお
 りです。

白石真澄氏(東洋大学経済学部教授)..
 人の生き方の多様性を認めていく社
 会となるようにしていく。そのため



コーディネーター/宮川俊二
 (キャスター)



にも政治の場で発言するなど、制度
 づくりが必要となる。評価、役割が
 日本は明確でないため、能力を計る
 尺度を作ることが大切。
 パク・ジョアン・スックチャ氏(アパ
 ショナータ, Inc. ワーク/ライフ/コンサ
 ルタント)..
 日本は、働き方に対する
 意識改革が必要。長時間働いている

ということは、時給が低いというこ
 と。ここにメスを入れて、付加価値
 を高めていくことにもっと注力し、
 メリハリのある時間の使い方をし
 たい。

福井泰代氏(株式会社ナビット代表取締役)
 ..女性起業家を作るとは簡単。
 スター、カッコイイ人を作ると良
 い。余裕のある人が出世する。好き
 なことをするのが一番よい。あきら
 めないでがんばる。ふんばる。自分
 で切り拓く幸せを体感しよう。

コーディネーターの宮川俊二氏よ
 り、日本語で「両立」というと50対
 50をイメージするが、ワークライフ
 バランスと読み替えると、その時々
 で最適なバランスを保てば良いとい
 う、柔軟な発想と行動ができるとい
 う話がまとめの言葉にありました。

第2部のティーパーティー(参加
 者交流懇親会)では、皆様、新たな
 出会いを求め、熱心に相互紹介を
 行っていました。パネリストの皆様
 にも参加いただき、身近にパネリス
 トの方たちと親交を深められるとい
 う粋なはからいがありました。仕事

と家庭、公と私のバランスを取りな
 がら、現在、活躍されている3人の
 パネリストの方々のお話を聞き、刺
 激になると共に、「私も明日からが
 んばろう」と勇気づけられたひと時
 でした。健康な心と身体のバランス
 を保てば、自分も周りもHAPPY
 になれます。

東京、武蔵野・町田商工会議所女
 性会の皆様の企画力の素晴らしさ
 も感じつつ、皆様充実した顔で会場
 を後にされていたのが印象的でし
 た。

(記：金岡真由美)



東京証券取引所・日本銀行視察会

平成18年11月7日(火)

最初に、東京証券取引所内の視察。株式の説明や東証の役割とは何かのビデオを見た後、テレビでも見覚えのある東証アローズの中へ入りました。かつての広大な株券売立会場は、コンピュータ化に伴って2005年5月に「東証アローズ」として生まれ変わりました。世界の三大証券取引所は、東京、ニューヨーク、ロンドン。日本国内は、東京、ジャスダック、大阪、名古屋、福岡、札幌の6カ所です。大画面の前では、昔の手で行うサインをいくつか教えて頂きました。記念撮影をし、あつという間の1時間でした。

徒歩15分程に貨幣博物館があります。古代から現代までの様々な貨幣や貨幣に関する資料、海外の珍しい貨幣などを見ることができました。ここでは1億円分のお札の重さを体験することが出来ます。つぎに日本銀行を視察しました。日本銀行の使命は、物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資することと、決済システムの円滑かつ安定的な運行を確保し、金融システムの安定に資することです。設立は、明治15年。地下1階、地

上3階立ての石積み煉瓦造りで、現在、旧本館は重要文化財に指定されています。旧館地下金庫の総面積は1426㎡、第一扉の厚さは900mm、第二の扉は100mmです。壁、天井の煉瓦は建築当時(明治29年)のままとなっており、アーチ状の様式が、関東大震災から日銀を救ったとも言われています。

また、二・二六事件で暗殺された高橋是清は歴代で最も有名な日銀総裁です。しかしお札の決定権は総裁ではなく、財務大臣が持っています。ここには1000億円分の銀行券バックや硬貨専用袋などが展示、



有価証券などを保管していた部屋も見学。お札が破損した場合の交換条件について又、リサイクル状況など、お札についての知識を得ることが出来ました。(記：鈴木紀子)

第1回 新会員とのランチミーティング

平成18年12月15日(金)

参加者65名(内新入会員29名)で会場は超満員。

吉川稲美副会長の挨拶ならびに女性会活動についての総括説明にはじまり、交流部、研修部及び情報・広報部の3部各代表から部活動の内容が紹介されました。また、女性会員向けの情報伝達方法として、月1回送信されるFAX会報「会員情報コーナー」の活用を促す説明が行われた後、大半の時間を費やした持ち時間わずか1分間での自己紹介が駆け足で行われました。

この会は今後3回にわたって開催を予定されておりますが、新会員の方々が女性会に馴染み、定着することを願って、担当メンバーは知恵を絞り、限られた時間での有効活用を図っています。



今後の日程は、3、6、9月の各5日の予定になっております。是非、皆さまの手帳などに組み入れて頂き、ふるって参加願います。会員に満足していただける魅力ある女性会を育てるには、施策を充実するだけではなく、心から温かい気持ちを持って接すること、具体的には、会員同士が明るい挨拶を交わすこととか、相談しやすい雰囲気であらうか。胸襟を開いて新会員を受け入れましょう。(記：福原美里)



新年懇親会

平成19年1月25日(木)

下町の人情の息づく街での開催

隅田川の袂、日本橋にあるロイヤルパークホテルにおいて東商女性会新年懇親会が山口信夫日商・東商会頭をはじめ多数の来賓を迎え、開催されました。



【第1部】
ウエルカムコンサート

アンドリュウ・コウジ・テイラー氏によるヴァイオリンコンサート。心に染みわたるような美しい音色に聞き入り、会場は静まり返り深い感動を覚えました。



【第2部】
懇親会

司会進行は交流部の山口玲子リーダーが行い、開会の辞は吉川稲美副会長により「袖すりあうも他生の縁」低い確率の中での貴重な今日の縁を大切にして欲しいとの言葉で開宴しました。



はじめに齋藤朝子会長より挨拶。「東商女性会は、女性経営者同士の交流を深めるための努力を重ね、会員数も目標にしていた600名を超えました。ビジネスチャンスはもとより、社会的な発言力を高め、さらに政策実行力を強めるための活動を行いたい」

続いて来賓の山口信夫会頭より挨拶。「女性会の毎年行われる新年会を楽しみにしています。商工会議所は中小企業に光があたる政策立案を図ってゆきたいと思っています。そこには女性会の実行力と華やかさで、そこに向かう私達に勇気と活力を与えて欲しい。会員に愛される商工会議所であるための努力を重ねたい」

来賓紹介の後、新入会員64名の紹介が行われました。今後の女性会の活動の力になって戴けることに期待したいと思います。

乾杯の音頭は恒例により小泉清子名誉会長により行われました。「女性会には美しいパワーを感じる。仕事も大切だが女性の愛と教育を持つ



て世直しのパワーにつなげて欲しい」との言葉が添えられました。

しばし歓談の後、恒例のお楽しみ抽選会。会員各々の運だめし。会場は抽選が当り幸運を得た会員の喜びの声、楽しい雰囲気です。小泉清子名誉会長提供の訪問着は久家道子常任理事が射止めました。

名残を惜しみつつ閉会の辞は安間百合子副会長より、来賓として会員への感謝の言葉があり、またの出会いを楽しみに、閉会となりました。

(記：佐藤廣子)



(撮影：是枝右恭)



少子化問題
企業訪問①

私たちにできること

株式会社ポピンズコーポレーション 代表取締役 中村 紀子さんに聞く

子育ては他人の手を借りてするもの、どんな手を提供するのが重要

ベビーシッター派遣のパイオニアである株式会社ポピンズコーポレーション。中村社長に、企業として子育てをサポートする姿勢を伺いました。

環境を整えないと

女性は子育てと仕事を両立できない

テレビ朝日のアナウンサーとして活躍しながら、子育てを始めた中村社長。

「仕事の時間が不規則だったので、保育園や幼稚園だけでは間にあいませんでした。どうしてもベビーシッターさんの力が必要でした」

中村社長が求めているベビーシッターは、たんに子どもの面倒を見るだけでなく、中村社長の教育方針を理解し、それに沿ってケアをしてくれる人でした。

「5人目で素晴らしい人にめぐり合えて、7〜8年お世話になりました。1985年に日本女性エグゼクティブ協会を設立し、日米の女性管理職の意識調査をしました。調査の結果、女性管理職になるためには、いくつかの必須条件と共通意識があることに気がつきました。これはどの分野においても、自分を成長させるために必要な要件であると考え、社内に浸透させ続けるようにしています。」

また日本の女性管理職のうち、全体の既婚者は

35%、子どもを持つている女性は、それよりさらに少なかったのです。男女雇用機会均等法が制定

された年でしたが、女性管理職を育成するためには、それが実現可能な物理的条件と環境を整えることが必要だと。それで翌年にベビーシッターの養成機関である、ナニースクールをスタートさせました」

イギリスでは一般的なナニーという職業も、日本での認知度はほとんどなかったそうです。中村社長は「教育ベビーシッター」という言葉を作りました。新しい「教育ベビーシッター」という言葉は、メディアに取り上げられ、広く認知されました。

「半年で150人ほどトレーニングをし、1987年3月9日にポピンズコーポレーションの前身であるジャファイサービス株式会社を設立しました」

育児によって人間的に成長して戻ってくる

「平成8年に社名をポピンズコーポレーションとしました。私のところは社会に向けての子育て

支援サービスが業務ですから、社内で仕事と育児の両立ができなければ本末転倒です。会社を始めはまだ間もない頃、企画を担当していた優秀な女性スタッフが産休をと、かなり早い時期から育児も与えました。正直その期間は私ひとりではがらりませんでした。その後復帰して1年ぐらいたった頃、2人目ができたと報告がありました。心のなかでは「参った」と思いながらも「そう、よかったわね」と言っておりました。子どもを2人持つと、通算5〜6年は戦力にはなりづらくなります。それで大企業が「だから、女性は当てにならない」というのもわかります。

しかし、能力のある女性は育児をバネにして、さらに人間的に成長して戻ってきます。うちの場合は出産・育児を経験した社員は、まさに宝。だから子育て経験のある人材はウエルカムですよ」

ポピンズコーポレーションには、日経新聞でも取り上げられたように「子作り休暇制度」を試験的に導入しました。

「現在は不妊も大きな問題となっています。なかなか子どもに恵まれない社員がいて、どうにかしらと考えると、ご主人と彼女の休みが合っていないからです。それならご主人の休暇に合わせて、子作り休暇をあげるからハワイにでも行っていらつしゃいと。しばらくして子どもが授かったと聞いたときは、うれしかったですね」

ポピンズコーポレーションは、有給についても社員が使いやすいように配慮しています。

「1日の有給を2回に分けて使う半休というシステムを作りました。午前中に半休をとり、午後



中村紀子社長

テレビ朝日アナウンサーとして入社。
その後フリーランサーとなり、ジャフィサービス株式会社を設立。
平成8年、株式会社ポピンズコーポレーションに社名変更。
平成15年内閣官房構造改革特別区域推進本部評価委員会 専門委員会就任
平成17年環境省中央審議会委員就任

子育てしやすい環境を作る勇気が必要

「日本では欧米に比べ、子どもをもつ女性の社会参加が遅れています。女性の意識が低いという人もいます。では、都議会や国会に保育所はありますかと尋ねたいですね。国会見学をしたく

も、保育所がなければ子ども連れで行くことはできないでしょう。女性は仕事と育児の両立ができませんといいますが、両立できる環境があつて、初めて女性の進化が問われるべきだと思います。大企業は人材を大量採用しても、中小企業は懸命な思いで人材をひとりひとり採用し、会社に根付いてもらうとするわけです。私のやり方は、全員の底上げは難しいけれど、誰を育成すべきかは、経営者なら見えてくるものです。そういう人たちが子どもを持ちながら継続して仕事を続け

れる環境を作る。最初はほんの5人のためかもしれないけれど、そういう仕組みを作る勇気が必要だと思います」

子育て支援はコストではなく将来への投資

産休・育休は、会社へのコスト負担が大きくなると考えがちです。

「優秀な人材を失った場合の機会損失は、大きなものです。新たな求人にも大きなコストがかかります。それに人材育成のコストを考えれば、子育て支援はコストではなく、将来への投資です」

子育て支援は仕組みではなく、

会社が始める社会貢献にもなる

労務管理だけでは、解決できない少子化問題。いま、私たちにできる子育て支援を伺いました。

「もし、会議室があいているなら、週1回だけでも、子どもを連れて仕事ができる日を作ってください。夏休みだけでも、企業内保育所を作ってみてください。1社だけで企業内保育所を作ることが難しかったら、何か合同で作ることもできます。」

子育ては、他人の手を借りてするものだという意識をもってあげてください。人に手を貸すときに、どんな手なら貸してあげられるかを女性経営者として考えてほしい。

経営者はこれから日本を背負って立つ子どもたちに企業として、次世代支援だと考えるべきだと思います。そのために上質な保育を提供することが、私たちの使命であると考えています」

少子化問題
企業訪問②

私たちにできること

社会保険労務士 大島祐美子 さんに聞く

いろいろな制度を、企業として有効に活用する

経営者に負担が少なく、従業員のメリットにもなる制度は、まず知ることが大切です

産休とは

労働基準法で定められている産前6週間、産後8週間の休業期間のことをいいます。産前休暇は本人の求めにより与えられますが、産後休暇は本人が希望しなくても与えられる強制休暇です。ただし、産後6週間を経過した女性については本人が請求し、医師が支障がないと認める業務に限り就業することができます。出産とは、妊娠4ヶ月以上の分娩をいい、死産、流産、人工中絶も含まれます。また、多胎妊娠の場合は、産前休暇は14週間以内となります。

産休中の賃金や有給休暇は

産前産後休業中の賃金については法律には定めはなく、有給か無給かについては就業規則もしくは労働協約など労使の話し合いによります。また、有給休暇付与の際の出勤率の算定にあたって

は、産前産後休業中は出勤したものとみなして扱うことになっていきます。また、産前産後休業中とその後30日間は労働者を解雇できませんし、産前産後休業の取得を理由とする解雇も禁止されています。

健康保険や雇用保険は

従業員が出産をしたとき健康保険の被保険者には出産手当金および出産育児一時金が支給されます。出産手当金は、産前産後の期間中（産前6週間、産後8週間）、出産のために会社を休み、賃金が受けられないとき（または6割未満になるとき）に支給されます。被保険者が出産した場合、賃金の有無にかかわらず支給されるのが出産育児一時金です。また、1歳（一定の場合は1歳6ヶ月）未満の子供を養育するための育児休暇を取った場合（一定の要件が必要）は、雇用保険から育児休業基本給付金などが支給されます。社会



大島祐美子さん

社会保険労務士、DCプランナー、年金アドバイザー。外資系計測器メーカー勤務後、参議院議員の公設第二秘書に従事。平成17年10月、社会保険労務士事務所を開業。特に女性の経営者・起業家・管理職への支援に特に力を入れている。

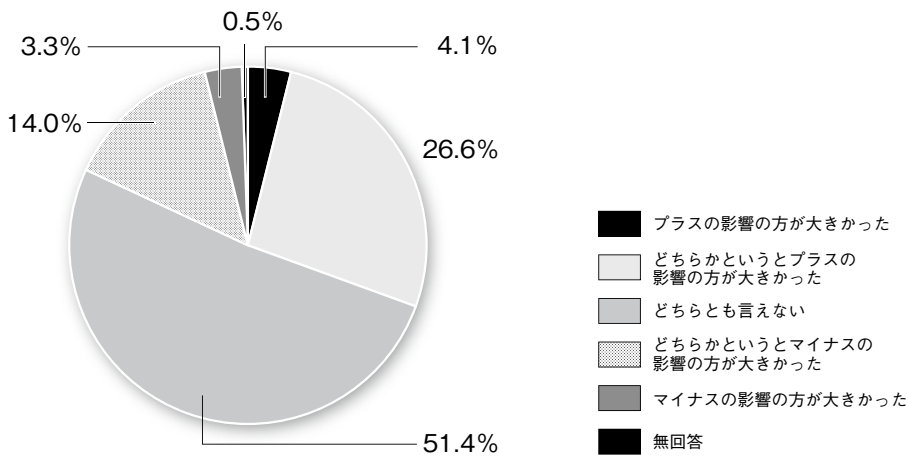
保険（健康保険・厚生年金保険）については育児休業法により、3歳に達するまでの子を養育するための育児休業期間について、従業員負担分・会社負担分とも、事業主の申し出により免除されます。なお、免除期間も健康保険・厚生年金の被保険者期間としての取扱いに変更ありません。また賞与にかかる保険料についても、育児休業期間中は、従業員負担分・会社負担分とも免除されます。他にも育児にかかわる社会保険の優遇措置はあります。

両立支援制度の導入は企業の投資と考える

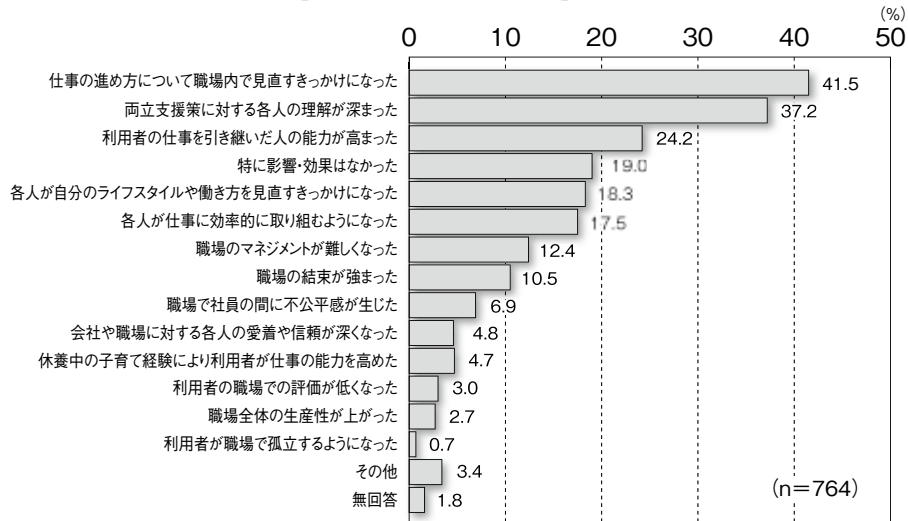
産休や育児の取得は、大企業よりも従業員数の少ない中小企業のほうがとりにくいというのが現状です。代替要員の確保が難しく、従業員の産休や育児の取得を避けたがる企業が少なくありません。厚生労働省の調査「出生前後の就業変化に関する統計（人口動態統計特殊報告）」（平成15年度）

「育児休業制度」「短時間勤務制度」の利用による職場への影響

【図表1 総合的影響】



【図表2 具体的な影響】



資料：少子化と男女共同参画に関する専門調査会「管理者を対象とした両立支援に関する意識調査」平成17年1月実施

によると、働く女性の7割が出産を機に、育休がとりづらいなどの理由で退職しています。しかし、今後の少子化時代を考えると、産休や育休制度の導入は長期にわたる優秀な人材の確保・定着につながると考えられます。

内閣府男女共同参画局が仕事と育児の両立支援

策を打ち出している企業に対して行ったアンケートによると、「両立支援制度の利用は総合的にみると職場にプラスの影響が大きい」という回答が多くなっています。その具体的な内容としては、職場内で仕事を見直しきっかけになっている、両立支援者に対する各人の理解が深まった、仕事を引き

継いだ人の能力が高まったということが上位にあげられています。

こうしたプラスの面をもたらす両立支援策を遂行するためには、土台となる環境づくりが必要です。

「(アンケート結果にあるように) 育児をしている人がいることは企業側のメリットになることを認識すべきです。また、女性だけ、既婚者だけのような特定の人だけが休みをとる、短時間勤務をするといったような社内における不公平な印象をなくすこと。これは、出産や育児との両立だけでなく介護によって仕事の時間が制限される可能性は誰にでもあるからです。ワークライフバランスを配慮することはすべての従業員に対して重要なことです。女性だけでなく男性への配慮も大切でしょう。さらに、コミュニケーションの活性化。育児にかかわること以外でも話せる雰囲気づくりが必要です」

厚生労働省は両立支援に積極的に取り組む事業主への助成を行っています。さらに東京都では、育休がとりやすいように独自の助成制度を来年度からスタートします。子育てと仕事が両立できる環境づくりを進めるため、責任者を新設した場合や社内研修など啓発を行った場合などに助成を行います。また、平成20年度から社内ですべての従業員を半額助成する費用を半額助成することを検討しています。

ぶらり東京の旅

日本橋



日本橋は、東京都中央区
の日本橋川の
上に架かる橋
として慶長8
年（1603
年）、徳川家

康の開府により付近の町割りと同時に、堀の整備のために架けられました。將軍家の命によつて建築され、日本を代表する橋として日本橋と呼ばれるようになったとされています。

現在の日本橋は第20代目にあたり、明治44年（1911年）建造、国の重要文化財に指定されています。橋長は27間（約49m）、幅員は15間（約27m）のルネッサンス式の石橋です。関東大震災時にも被害がなかったこの橋は、その設計建築技術の高さに驚かされま

すが、さらに、橋の柱に書いてある「日本橋」の文字は徳川最後の將軍慶喜公の直筆です。
日本橋北詰東側は魚河岸と呼ばれ、関東大震災を機に築地に移転する前までここにありました。周辺の通りには多くの問屋が軒を連ね、歌川広重の浮世絵にもあるように大いに賑わい、現在の日本銀行本店の地（日本橋本石町）には金座が置かれていました。また、呉服問屋街としても江戸経済の中心的な役割

を担いました。日本を代表する三越デパートは伊勢松坂出身の三井八郎衛門高利がこの地で越後屋呉服店を開き、三越の名称は三井の「三」と越後屋「越」によつて屋号としたと言われています。南詰めには日本橋で呉服商からスタートし、後に百貨店として多くの人々に親しまれてきた「白木屋」がありました。その歴史は三越の創業をさかのぼり、寛文2年（1662年）、初代大村彦太郎可全が日本橋2丁目に小間物屋を開いたのが始まりとされています。現在はその後身である東急百貨店ビルもなくなり、日本橋コレドという複合商業ビルになっています。

日本橋周辺にはこうしたデパートの他に江戸時代から続く多くの老舗があります。初代嘉兵衛が元禄3年（1690年）に江戸に出店し、茶・紙類を商い現在も続く山本山もその一つです。小網町、室町、小舟町、本石町、人形町、蛸殻町、茅場町、兜町など江戸を偲ぶたくさん町の町名が今も周辺に残っています。

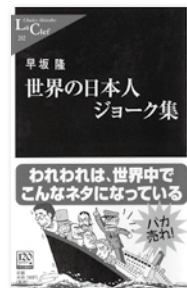
（記・井上象英）



ブック・レビュー

話題の本を紹介

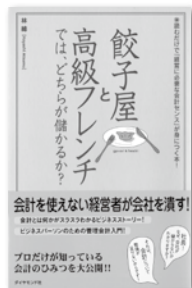
世界の日本人ジョーク集



著：早坂 隆
刊：中央公論新社
新書版 238ページ 798円（税込）

世界から注目されてきた経済大国・日本を世界各地で語られ、笑いを誘ったジョークをこの本に凝縮。海外からみる日本の姿を改めて実感できます。ちょっと心と体を「お休みモード」にすると、傍らにおいてこの本を読んでみませんか。読んでいるうちに、ぷっと噴き出してしまいそうです。

餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか？



著：林 總
刊：ダイヤモンド社
四六版 232ページ 1575円（税込）

会計センスが身につく本。主人公「由紀」が父親の突然の死により、父親の会社を受け継ぐことに…。ストーリー仕立ての展開で、ずっと頭の中に会計の言葉が入ってきます。会計の仕組みも図解でわかりやすく、今まで苦手だった「会計とは」のおもしろさを知るヒントが散りばめられた一冊。

東商女性会 ビジネスフェスタ

～とく得プラザ“夢の祭・展”～

来場者募集!!

3月26日(月)16:00~19:00(予定) 東京商工会議所国際会議場

女性会初の試みとして、ビジネスフェスタを開催致します。女性会会員だけでなく、東商会員にも自社PRをするビッグチャンスです。「開運&10歳若返るエイジレスメイク」講演も同時開催いたします。皆様、ぜひおいでください。詳細は事務局まで。

◆メディアに登場◆

千葉千枝子●NHKラジオ第一「ラジオほっとタイム」(毎週月曜日)ロングステイのミニコーナーを通常で担当、出演中。
 武藤正子●『日経新聞』(平成18年6月22日)光が丘内、親子で近居が増えているとコメント。
 久家道子●『JALショップ』(平成18年6月号から連続数ヶ月)プチポアン「いやしのポーチ」機内・機外誌に。(JALキャビンアテンダント推薦の「いいものすすめ隊」に出たポーチの案内)
 中村文子●「とらばーゆ No.32」(平成18年8月2日)「これが女の出世道」起業に至る道のりや仕事への思いを語る。
 『日経WOMAN』(平成19年1月号)「新サラリーウーマン幸せ研究所」後輩のやる気を出したい読者へのアドバイス。
 大野木真理●『フジサンケイビジネスマイ新聞』(平成18年10月4日)美眼は美顔、眼の美容院を設立。インタビュー。
 塚本夏代●TBSテレビ『お江戸粋いき!金継ぎ』(平成18年10月22日)伝統の茶道では陶磁器の欠け、割れを純金等で繕うことを紹介。
 今井美津恵●フジテレビ「こたえてちょーだい」(平成18年11月15日放映)定年退職後の男の自立は料理ができること。
 綾乃ひびき●『産経新聞』(平成18年11月20日〜24日)歌い手の視点から日本の子守唄を紹介。

※数多くの会員の方より「メディアに登場」掲載希望の申し込みをいただき、ありがとうございました。掲載スペースの都合上、前号までに掲載されていない会員の方を優先いたしました。掲載を申し込みの会員全員を掲載できなかったことを読面を通じてお詫び申し上げます。

藤沢 薫●NHKニュース(平成18年11月20日放映)新宿歌舞伎町区役所通りのイルミネーション実行委員長として取り上げられた。『読売新聞』(平成18年11月18日)『朝日新聞』『東京新聞』『スポーツニッポン』『毎日新聞』『産経新聞』他(平成18年11月21日)
 脇田直枝●『財界』(新年特別号および平成18年11月30日号)高齢女性経営者の取材紹介。
 石井幸子●『全国賃貸住宅新聞』(平成18年12月18日)東京ビックサイトで開催された賃貸経営セミナーでは、特に人気の高い主宰するお茶の水税経になると座席、レジュメの獲得が激化。
 木村蓉子●『週刊ビル経営』(平成19年1月1日)「ビルリノベーション最前線」屋上緑化編、テナントサービスと環境を考えた経営方針として紹介。
 加藤六代●『テレビ埼玉』(平成19年1月9日)『テレビ千葉』(平成19年1月10日)『テレビ神奈川』(平成19年1月12日)「ダンスは一番」桂由美先生との協同企画について。
 木原啓子●『PHPカラット』(平成19年2月号)人と地球の未来の為に健康と地球環境の改善。
 荒川旬美●日本テレビ放送網(平成19年2月17日放映)「1日で体質改善!?!」花粉症おさらばツアー」「カウンスリング腸もみマッサージ」

ゴルフ同好会



昨年は第8回(グレンオークスC)、第9回(蓼科フォーラムに1泊のゴルフ)、第10回(セブンハンドレッドCC)と、また、10月には小金井CCで山口会頭を囲むゴルフ、と同好会、ゴルフも楽しい1年を過ごしました。
 さて、平成19年は2月に南房総で新年会ゴルフコンペからスタートし、第11回は5月、つづいて7月には恒例になりました蓼科フォーラムに宿泊のゴルフ、第13回は9月に予定しております。同好会の人数も57名と増え、今年も皆で楽しい会に育てていきたいと思えます。
 (記・保田和江)

訃報

谷口 晴子 様
 (有限会社アルス社代表取締役)が
 平成18年8月24日に逝去されました。
 (享年68歳)。

東商女性会の今後の主な行事予定

(平成19年3月1日〜9月30日)

- 3月5日(月) 第2回 新会員とのランチミーティング
- 3月12日(月) 東商女性会・関商女性連 共催フォーラム「安倍洋子氏、阿川佐和子氏 スペシャル対談」
- 3月26日(月) 東商女性会 ビジネスフェスタ
- 4月18日(水) とく得プラザ 夢の祭・展
- 4月17日(木) 東商園遊会
- 5月17日(木) 関商女性連 総会(群馬大会)
- 6月5日(火) 第3回 新会員とのランチミーティング
- 6月6日(水) 東商女性会 会員総会
- 8月29日(水) 東商女性会 サマーセミナー

編集後記

平成18年4月第10号より10ヶ月、「東商LADY」第11号を発刊する運びとなりました。通常4月・10月の年2回発刊していましたが、年度末に編集作業が重なる等の負担を軽減するため、2月末、8月末に変更させて頂く事となりました。会員の皆様方にはたいへんお待ち致しました事をお詫び申し上げます。
 今回のテーマは「少子化」。表紙は親子の絆をテーマにした画像を選びました。原稿・編集まで全て部員の手で制作しております。皆様方に、より一層分かり易い、役に立つ情報をお送りするべく、努力を重ねる所存でございます。今後とも何卒よろしくご協力の程、御願い申し上げます。

情報・広報部リーダー 石野康子



東商女性会
組織基盤強化活動「パワーアップ 2005-07」
会員募集 目標600会員を目指して

交流の拡大、発言力の強化、事業の充実のために、
お知り合いの女性経営者で当女性会に未加入の方がいらっしゃいましたら、
是非一声お掛け下さいますようお願い申し上げます。

東商LADY

2007年2月28日 第11号

発行所
東京商工会議所会員情報部会員交流センター

発行人
東京商工会議所女性会
会長 齋藤朝子

編集人
東京商工会議所女性会
情報・広報部

表紙写真:©ORION PRESS/amanaimages